

横暖ルーフα

工法

重ね葺き

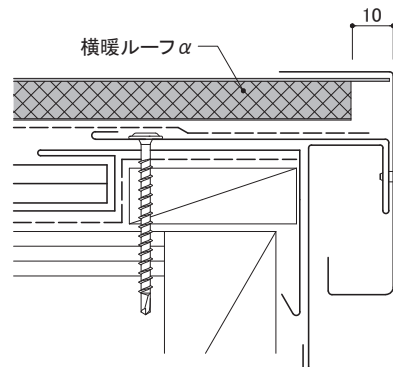
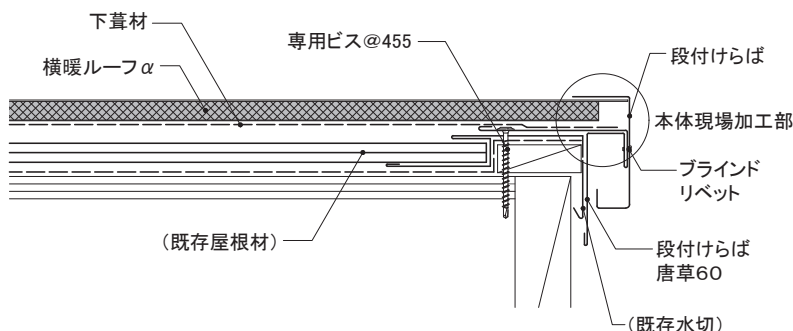
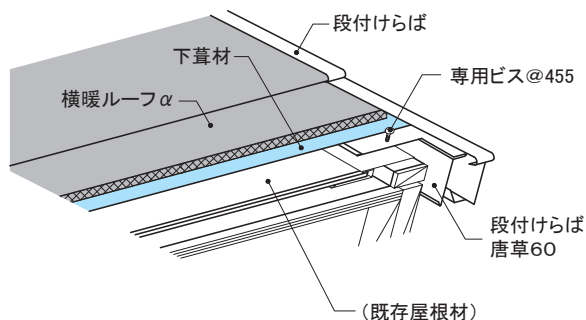
既存屋根材

セメント系新生瓦
アスファルトシングル

5) けらば部

③ 段付けらば唐草60+段付けらば

- 段付けらば唐草60は専用ビス(ステンレスドリルビスφ4.4mm×55mm)を用いて、455mm以下の間隔で留め付けます。
- 下葺材を張り、横暖ルーフαは専用ビス(ステンレスドリルビスφ4.4mm×55mm)を用いて、455mm以下の間隔で垂木に施工します。
- 段付けらばは、けらば小口にかぶせるように取り付けます。その際、軒先から「段付けらば軒先」を施工し、以降「段付けらば」を使用して施工します。
- 「段付けらば軒先」および「段付けらば」は、側面の穴からブラインドリベットで留め付けます。

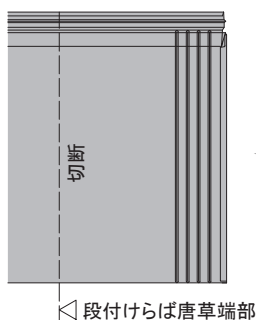


部分断面図

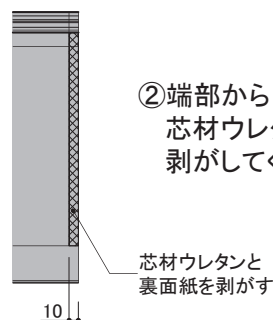
■ 施工ポイント・現場加工図

- 横暖ルーフα本体のけらば部分は、図のように加工します。

- ① 段付けらば唐草の端部となる位置を切断します。



- ② 端部から10mmの位置まで芯材ウレタンと裏面紙を剥がしてください。



- 段付けらばは図のように軒先からかぶせるように取り付けます。軒先は必ず小口付の「段付けらば軒先」を使用してください。

※「段付けらば」「段付けらば軒先」は形状が左右で逆になります。必ずご確認の上、施工してください。

